

國語及朝鮮語のため

文學士 小倉進平 著

一、言語の系統的分類

言語の系統
的分類

今日地球上に行はれて居る言語の數は何程あらうか。學者によつて夫々相違はあるが、先づ一千種位と見るのが穩當であらう。然らば其等多數の言語は何れも根本的に相異なれる性質を有し、互に何等の關係を有しないものであるか、或は何等かの共通的性質を有して居るものであらうかといふに、今日の言語學の證明する所では、其等の或るものは互に親族的關係を保つて一家族をなして居るといふことになつて居る。而して其の一家族をなせる言語の一團を言語學上では語族言語族と稱し、血族關係の有無を標準として言語を分類することを言語の

種族

系統的、分類といふのである。

系統的分類によつて得たる語族の數は、學者の意見により相違がある。併しながら普通の説に従へば、單音節語族、ウラルアルタイ語族、印度日耳曼語族、マライポリネジャ語族、セミチック語族、ハミチック語族、ドラヴィダ語族等に分つことが出来る。以下其の大略を説明しよう。

單音節語族

ウラルアル
タイ語族

(一) 單音節語族 (Monosyllabic Family) 一音節が即ち語をなすもので (本書『言語の形態的』分類の條參照)

支那語を筆頭とし、西藏語、緬甸語、安南語、暹羅語、東蒲塞語等は之に屬する。

(二) ウラルアルタイ語族 (Ural-Altaic Family) チュラニヤ語族 (Turanian) 又はウグロアルタイ語族 (Ugro-Altaic) ともいふ。之れは更に次のやうに大別することが出来る。

(イ) 西方亞細亞族 今日死語となつたアッカデア語、スメリヤ語等は之に屬する。

する。

(ロ) ウラル族 (Uralic) 芬蘭語、ラップランド語、匈牙利語等は之に屬する。

(ハ) サモエード族 (Samojed) ユーラック語、クウジ語、オストヤク、サモエード語、

エ、ニ、セ、イ、サ、モ、エ、ー、ト、語等は之に屬する。

(ニ) トルコ・タタール族 (Turkish-Tatar) ヤクト語、回鶻語、チヤガタイ語、トルコ

マン語、ウスベク語、キルギス語、西部トルコ語等は之に屬する。

(ホ) 蒙古族 蒙古語、カルムック語、フリヤート語等は之に屬する。

(ヘ) ツングース族 (Tungusian) ツングース語、滿洲語、日本語、朝鮮語等は之に屬す

といはれて居る。

(三) 印度日耳曼語族 (Indo-Germanic Family) 印度歐羅巴語族 (Indo-European) 又はアリヤン語族 (Aryan) ともいふ。これは更に次のやうに大別することが出来る。

(イ) 印度族 サンスクリット語、プラクリット語、パーリ語以上死語、シンハリ

ズ語、ベンガル語、アッサム語、チハール語、カシユミール語、シンド語、ハンジャ

ブ語、プラーフイ語、グジャラチ語、ヒンデイ語、ヒンツスタン語等は之に屬する。

(ロ) イラン族 (Iranian) 波斯語、グルド語、ゼンド語 (死語)、アルメニヤ語等は之に屬

する。

(ハ) ケルト族 (Celtic) グエールス語、ブリトン語、愛蘭語、蘇格蘭語、ゲール語 (死語等

は之に屬する。

(ニ)

伊太利族 (Italian)

ウ、ン、ブ、リ、ヤ、語、オ、ス、カ、ン、語、羅、旬、語、以上死語 (伊、太、利、語、佛、蘭、

西、語、西、班、牙、語、葡、萄、牙、語、等は之に屬する。

(ホ)

スラキヤ・イリリヤ族 (Thirako-Ilyrian)

ス、ラ、キ、ヤ、語、死、語 (ア、ル、バ、ニ、ヤ、語、等は之

に屬する。

(ヘ)

ヘレン族 (Hellenic)

希、臘、語、等は之に屬する。

(ト)

レツコ・スラヴ族 (Letto-Slavonic)

古、代、ス、ラ、ヴ、語、死、語、露、西、亞、語、ブ、ル、ガ、リ、ヤ、

語、セ、ル、ヴ、イ、ヤ、語、ス、ロ、ヴ、ァ、ツ、ク、語、波、蘭、語、古、代、ブ、ロ、シ、ヤ、語、死、語 (レ、ツ、ト、語、リ、ス、

ア、ニ、ヤ、語、等は之に屬する。

(チ)

チユートニツク族 (Teutonic)

ゴ、シ、ツ、ク、語 (死、語) 獨、逸、語、ア、ン、グ、ロ、サ、ク、ソ、ン、語 (死

語) 英、語、和、蘭、語、ア、イ、ス、ラ、ン、ド、語、瑞、典、語、諾、威、語、丁、抹、語、等は之に屬する。

(四)

マライ・ポリネシア語族 (Malayo-Polynesian Family)

これは更に次のやうに大別

することが出来る。

(イ)

マライ族 (Malay)

比、律、賓、方、言、マ、リ、ア、ナ、嶋、の、方、言、モ、ル、ッ、カ、嶋、の、言、語、臺、灣、の、

(ロ) 方言、馬來語、ジャワ語、ホルチオ語等は之に屬する。
ポリネシア族(Polynesian) サモア語、マオリ語、タヒト語、布哇語等は之に屬する。

(五) セミチツク語族(Semitic Family) これは更に次のやうに分類することが出来る。

(イ) 北部 アツシリヤ、バビロニア語、フェニキヤ、ヘブライ語、カルデア語、シリヤ語(以上死語)、新シリヤ語等は之に屬する。
(ロ) 南部 シナイ語(死語)、亞刺比亞語、アムハリック語、チーグル語等は之に屬する。

(六) ハミチツク語族(Hamitic Family) これは更に次のやうに分類することが出来る。

(イ) 古代埃及語、コプト語、何れも死語等。
(ロ) リビア語、ヌミディヤ語(死語)等。
エシオビヤ語、ソマリー語等。

(七) ドラゲイダ語族(Davidian Family) 印度東南部の諸族で、タミル語、テलग語、
ツル語等は之に屬する。

以上は語族中の最も主要なるものを挙げたのであるが、此の他にも未だ語族
をなし得ざるもの、又は所屬不明のものも多數ある。今其の中の重なるものを舉
ぐれば、亞非利加洲にはホツテントット語族、パンツ語族、黑人語族、濠洲には濠洲
諸土語、亞米利加洲には亞米利加諸土語、亞細亞洲には其の東北部にユカギール
語、チュクチ語、歐羅巴洲中にはカフカズ語、バスク語等の諸言語がある。

一、形態上の分類